

第4章 京葉線（葛西臨海公園～東京他）

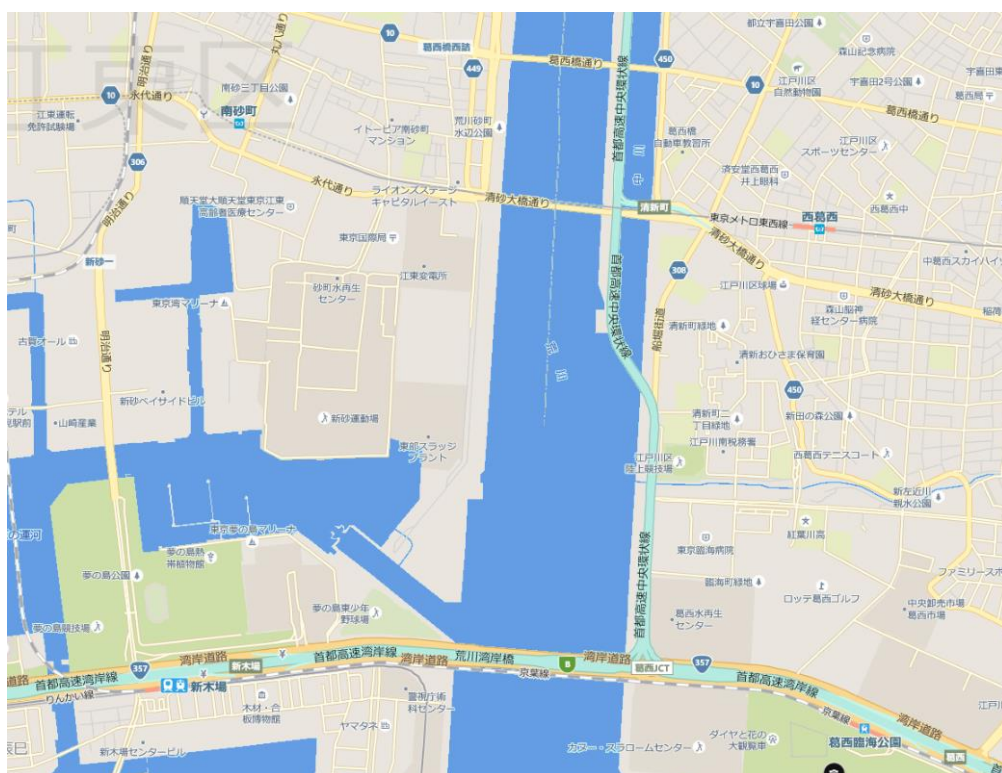
2021年11月6日（土）快晴、京葉線（葛西臨海公園～東京：営業キロ10.6 km）、そして武蔵野線を繋ぐ支線である二俣支線（南船橋～西船橋：5.4 km）と高谷支線（西船橋～市川塩浜：5.9 km）の総キロ21.9 kmに挑戦する。なお、二俣支線を除き、2001年5月および2001年6月に踏破済であるが、記録の不備からの今回の再挑戦となった。



※武蔵野線と京葉線

本日の踏破で、通算営業キロは **1万2千695 km (歩き日数 618 日)** となった。また 2021 年暦年記録も 1,104km (歩き日数 52 日) と記録更新中である。更に、**地球の直径相当 (1万2千739 km)** 到達まで 44 km と迫った。歩く鉄道作家として、種々の自己記録更新は実に爽快で楽しい。近日中には是非、直径相当は達成したいものである。

本日の旅で唯一失敗は、私の判断ミスから葛西臨海公園駅から新木場駅までの営業キロ 3.2 km に対し、中川が大きく立ち塞がり、迂回 4 km を余儀なくされ、2 時間 15 分要したことだ。ただし、20 年前はこの区間で悪戦苦闘した記憶はなし。



※葛西臨海公園駅から新木場駅までの路線図

本日の各駅舎の到着は次の通り。(市川塩浜駅から葛西臨海公園までは電車で移動)

南船橋 (9:16) ~ 西船橋 (10:50) ~ 市川塩浜 (12:47)、葛西臨海公園 (13:05) ~ 新木場 (15:20) ~ 潮見 (15:59) ~ 越中島 (16:48) ~ 八丁堀 (17:44) ~ 東京 (18:05)

<南船橋～西船橋～市川塩浜>

①南船橋駅から日の出交差点までは、6日前の歩きと変え、京葉線高架下を歩く。日の出交差点から二俣交差点までは、6日前歩いた道筋の復習となる。9時21分、動く歩道に乗る。9時26分、国道357号を陸橋で横切った先にIKEA (Home furnishings)があった。9時38分、特急車両と対面する。9時41分、二俣交差点で国道357号を渡る。10時18分、二俣支線と高谷支線の合流点に到達。ここから西船橋駅までの道筋を往復することとなる。10時33分、二俣歩道橋にて京葉道路を横切る。10時50分、京葉線の高架下に沿って歩く。10時45分、京葉線下を潜る。西船橋駅には10時50分到着。西船橋駅で10分位留まり散策する。そして、市川塩浜駅を目指す。



※南船橋駅、動く歩道



※海老川、千葉市から10 km地点、末広橋



※市川市へ（千葉市から 12 km地点）、二俣支線登場、二俣支線と高谷支線の合流点



※西船橋駅



※京葉道路を跨ぐ二俣歩道橋、支線の合流点

②11時16分、再度、二俣歩道橋を通過。11時30分、二俣団地入口バス停（京葉トランジェットバス）前を通過。11時37分、京葉線と二俣支線が分岐する地点に戻る。11時40分より、高速道路下にある二俣新町駅前歩道橋を通過する。歩道橋を渡った先から200m位戻った先に6日前に踏破した二俣新町駅があった。11時46分、高谷支線を潜る。ここから市川塩浜駅まで6日前に歩いた道筋の再

現となる。12時、前方に広がる螺旋状になった複雑な道路網は、改めて日本土木の高度な技術を窺うことができた。12時47分、市川塩浜駅に到着。運よく、12時49分発の東京駅に乗ることができる。



※二俣新町駅前歩道橋、向うに二俣新町駅



※高谷支線を潜る、原木大橋、市川大橋



※市川大橋、京葉線江戸川放水路橋梁、千葉市から15 km地点



※市川塩浜駅

<葛西臨海公園～東京>

③葛西臨海公園駅には12時58分到着。噴水がある、観覧車が見える、葛西臨海公園駅前には沢山の観光客の姿があった。葛西臨海公園を散策しながら、新木場駅を目指す。葛西臨海公園を出た先で螺旋階段(13時16分)を經由し、地上に出る。この動きが1時間迂回する原因となった。13時26分、中川が前方を遮る。国道357号線は頭上20m位のところにあった。この国道に戻ろうと引き返す道筋、自転車に乗った人と対面。「中川を渡るには大きく迂回し、清砂大橋しかないと思いますよ。私もこの橋を渡ります」多少パニック状況になっており、この人の意見をそのまま採用し、再度中川土手に近づき、清砂大橋まで迂回する。しかし、随分遠かった。2km位あったらだろうか。迷ったと気付いた段階で冷静になりナビで検証すべきであった。大きな判断ミスをした。



※葛西臨海公園駅



※葛西臨海公園駅前、葛西臨海公園散策



※観覧車の横から、誤って螺旋階段を下りる、頭上に国道 357 号線



※清砂大橋までの迂回への路

14時7分、東西線に並走する清砂大橋（547.3m）には、ロスタイムも含め14時7分到着。この橋は永代通りに続いていた。14時43分、新木場駅に繋がる明治通り交差点に到着。ここから、新木場駅まで遠かった。次の潮見駅に繋がる交差点を確認しながら進む。15時3分、夢の島大橋（万歩計で273歩）を渡る。風光明媚な東京湾が一望できる。この橋を渡ると夢の島公園があった。”木のまち”新木場駅には15時20分到着。駅前の交番で参考のため、葛西臨海公園駅から新木場駅まで国道357号線歩道を経由して来られるかどうか確認する。

色々お骨折り頂き、「20年前と同様歩道がある」と確認する。これで1時間迂回した労力が報われる。御礼を言ってこの場を後にする。



※清砂大橋からの風景



※永代通りから明治通り



※夢の島大橋からの風景、夢の島公園



※新木場駅

④ここからネットで印刷した地図を片手に東京駅を目指す。お蔭様で越中島駅
界限にて日没となるが、路に迷うことなく、歩くことができる。ただし、要所
要所で、確認のため、地元の人に確認しながら進む。聞きたい時に通行人に出
会う。流石大首都東京である。それにしても川越えが多い複雑な道筋であった。
特に、潮見駅以降は、京葉線は地上ではなく、地下に潜る。それ故、用意周到
な地図がなければ迷子になるし、複雑な水路にぶつかり行き止まりとなる。ま
さに綱渡りの旅であった。



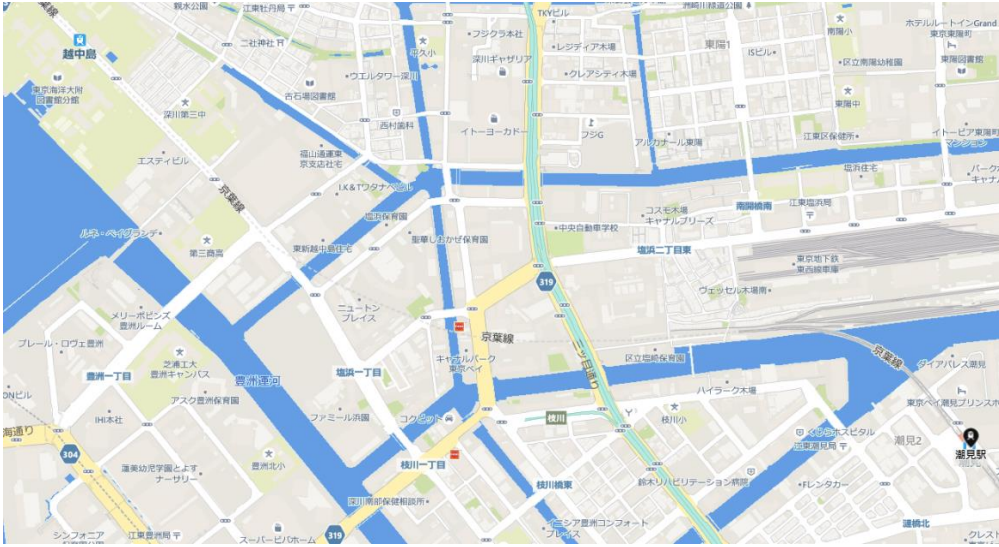
※夢の島大橋、砂潮橋、遠くに京葉線



※潮見駅

15時49分、169歩ある砂潮大橋を渡る。遠くに海外線を跨ぎ、京葉線があった。15時59分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。その先に潮見駅（15時59分）があった。構内を通り、鉄道の左側となる。潮見駅西口があった。ここから東京駅まで鉄道の左側をキープして歩く。

⑤16時8分、119歩ある暁橋を渡る。16時27分、国道319号線下を潜る。16時28分、81歩ある蛤橋を渡る。16時37分、68歩ある浜園橋を渡る。越中島駅には16時48分到着する。



※潮見駅から越中島駅までの路線図



※曙橋からの京葉線、越中島日駅への路

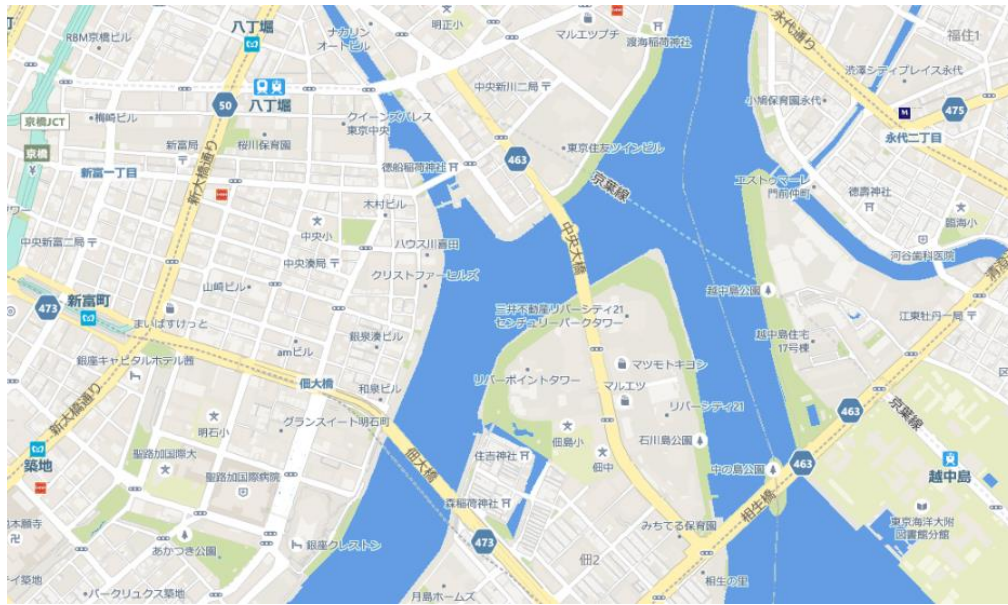


※浜園橋からの眺め、深川第三中学校



※越中島駅（数分の差で辺りは急に暗くなる）

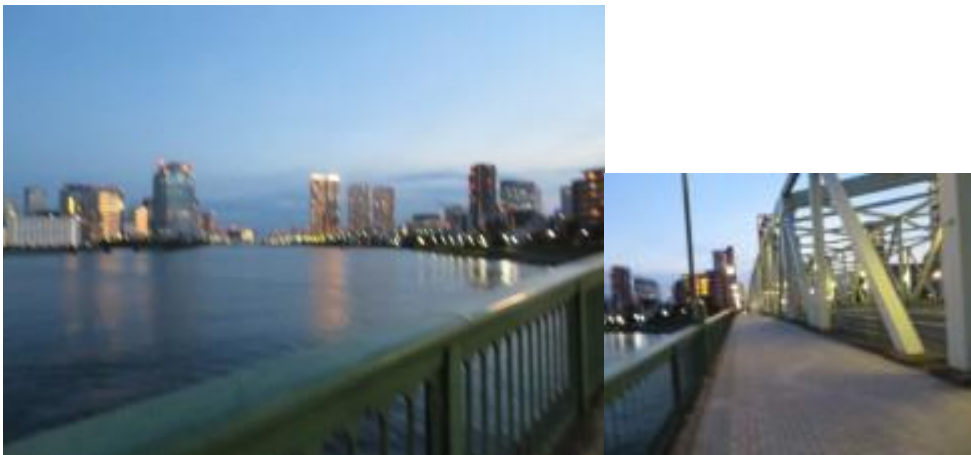
⑥越中島駅からは日没の条件下歩く。16時58分、清澄通りに出る。東京海洋大学がある。17時1分、272歩ある相生橋を渡る。ここからも大都市東京の素晴らしい光景を堪能できる。都営大江戸線と東京メトロ有楽町線が合流する月島駅には17時9分到着。17時18分、階段を上り、佃大橋（370歩）を渡る。ここから隅田川の夜景を堪能する。17時23分、階段を下りる。17時53分、有楽町線の新富駅に到着。この駅に面して、新大橋通りが続いていた。日比谷線も合流する八丁堀駅には17時44分到着。



※越中島駅から八丁堀駅までの路線図



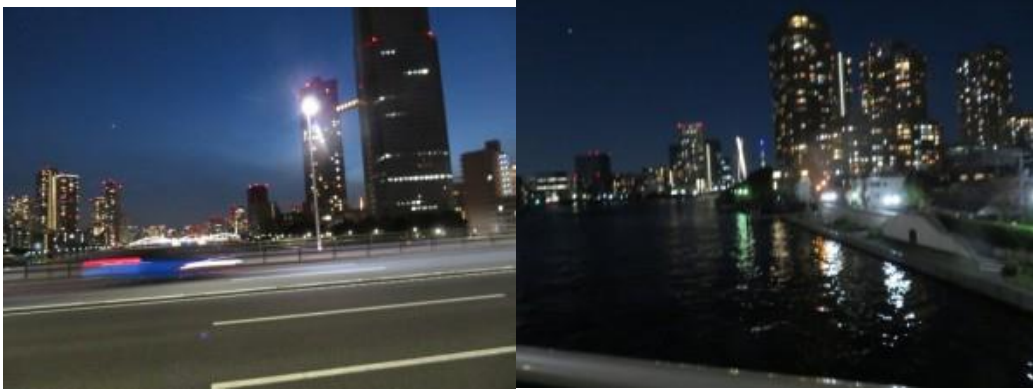
※清澄通り、東京海洋大学、相生橋



相生橋からの風景



※地下鉄月島駅、新月陸橋、階段を上り隅田川を渡る



※隅田川界隈の夜景



※地下鉄新富駅、新大橋通、八丁堀駅



※八丁堀駅

⑦国道 408 号線を歩き、東京駅八重洲口には 18 時 5 分到着。18 時 14 分発の中央線にて新宿経由で自宅に。



※東京駅



※大丸、東京駅、中央線（東京駅）

本日は6日目の歩きに引き続き、ウォーキング日和に恵まれ、天や神に感謝また感謝。これで武蔵野線・京葉線のリベンジを含めた踏破ができたので、”日本横断歩き鉄の旅”PDFの第22編（武蔵野線・京葉線）を近々執筆したいものだ。